



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年8月8日  
東

上場会社名 東急株式会社 上場取引所  
コード番号 9005 URL <https://www.tokyu.co.jp/>  
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 堀江 正博  
問合せ先責任者 (役職名) 財務戦略室 主計グループ (氏名) 大澤 勇紀 (TEL) 03-3477-6168  
四半期報告書提出予定日 2023年8月8日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年6月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2024年3月期第1四半期	239,259	14.4	24,518	179.5	27,676	169.4	19,963	174.3
2023年3月期第1四半期	209,182	5.0	8,772	677.0	10,272	499.1	7,278	△21.8

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 23,956百万円(76.1%) 2023年3月期第1四半期 13,600百万円(△4.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第1四半期	円 銭 32.69	円 銭 —
2023年3月期第1四半期	12.08	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第1四半期	百万円 2,583,417	百万円 769,960	％ 28.2
2023年3月期	2,614,012	779,372	28.3

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 729,434百万円 2023年3月期 740,621百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年3月期	円 銭 —	円 銭 7.50	円 銭 —	円 銭 7.50	円 銭 15.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	7.50	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
通期	1,032,900	10.9	78,000	74.9	78,200	65.1	45,000	73.1	74.74

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	624,869,876株	2023年3月期	624,869,876株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	26,566,644株	2023年3月期	10,210,452株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	610,615,470株	2023年3月期1Q	602,433,669株

(注) 自己株式に含めている従業員持株会信託口及び役員報酬信託口が保有する当社株式数は以下のとおりであります。

2024年3月期第1四半期 : 1,510,400株      2023年3月期 : 1,680,500株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

なお、上記予想に関する事項は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

「2024年3月期 第1四半期 決算概況資料」は、本日 (2023年8月8日)、TDnetで開示するとともに、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行などにより、社会経済活動には緩やかな持ち直しの動きがみられました。

当第1四半期連結累計期間の営業収益は、交通事業やホテル・リゾート事業を中心に、利用者数の回復が見られたことに加え、鉄道の運賃改定や、不動産販売業における物件販売などの影響により、2,392億5千9百万円（前年同期比14.4%増）、営業利益は245億1千8百万円（同179.5%増）、経常利益は276億7千6百万円（同169.4%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、持分法投資利益の増加などにより、199億6千3百万円（同174.3%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであり、各セグメントの営業収益は、セグメント間の内部営業収益又は振替高を含んで記載しております。なお、各セグメントの営業利益をセグメント利益としております。

## ① 交通事業

交通事業では、東急電鉄㈱の輸送人員は、新型コロナウイルス感染症の5類移行などによる外出機会の増加や、2023年3月18日に開業した東急新横浜線の開業効果などにより、定期・定期外ともに前年を上回り、定期で6.2%増加、定期外で6.4%増加し、全体では6.3%の増加となりました。また、運賃収入は輸送人員の回復に加え、2023年3月18日に実施した運賃改定の効果などにより、定期で15.0%増収、定期外で22.8%増収し、全体では19.7%の増収となりました。

この結果、営業収益は510億7千7百万円（同15.7%増）、営業利益は95億5千6百万円（同216.1%増）となりました。

## (東急電鉄㈱の鉄軌道業の営業成績)

種別	単位	前第1四半期連結累計期間	当第1四半期連結累計期間
		2022. 4. 1～2022. 6. 30	2023. 4. 1～2023. 6. 30
営業日数	日	91	91
営業キロ程	キロ	104.9	110.7
客車走行キロ	千キロ	36,697	38,923
輸送人員	定期外	千人	110,726
	定期	千人	139,134
	計	千人	249,860
旅客運輸収入	定期外	百万円	18,106
	定期	百万円	11,849
	計	百万円	29,955
運輸雑収	百万円	3,508	3,346
収入合計	百万円	33,463	39,208
一日平均旅客運輸収入	百万円	329	394
乗車効率	%	43.2	43.4

(注) 乗車効率の算出方法 
$$\text{乗車効率} = \frac{\text{輸送人員}}{\text{客車走行キロ}} \times \frac{\text{平均乗車キロ}}{\text{平均定員}} \times 100$$

## ② 不動産事業

不動産事業では、当社不動産販売業における物件販売や、ホテルの稼働率の回復などにより、営業収益は605億5千8百万円（同36.0%増）、営業利益は124億2千1百万円（同101.9%増）となりました。

## ③ 生活サービス事業

生活サービス事業では、(株)東急百貨店において、前年度の本店営業終了に伴い減収となったものの、他事業での需要回復などにより、営業収益は1,229億5千9百万円（同2.2%増）、営業利益は23億9千4百万円（同77.8%増）となりました。

④ ホテル・リゾート事業

ホテル・リゾート事業では、都心エリアのホテルを中心にインバウンド需要の取り込みなどによる、利用者数の回復があり、ホテルの稼働率は74.4%（前年同期比+12.8ポイント）、客室平均単価は19,727円（前年同期比+7,268円）となりました。この結果、営業収益は208億1千5百万円（同44.2%増）、営業利益は1億1千7百万円（前年同期は17億9千9百万円の営業損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、現金及び預金や、受取手形及び売掛金が減少したこと等により、2兆5,834億1千7百万円（前期末比305億9千5百万円減）となりました。

（負債）

負債は、支払手形及び買掛金の減少等により、1兆8,134億5千6百万円（同211億8千3百万円減）となりました。

（純資産）

純資産は、自己株式の取得等により、7,699億6千万円（同94億1千1百万円減）となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、第1四半期までの業績等を踏まえ、前回発表時の予想（2023年5月11日公表）から、営業収益1兆329億円（前回予想比0.2%増）、営業利益780億円（同11.4%増）、経常利益782億円（同11.4%増）、親会社株主に帰属する当期純利益450億円（同12.5%増）に変更しております。

詳細につきましては、別途開示しております「2024年3月期 第1四半期 決算概況資料」をご参照ください。

※本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	69,342	47,367
受取手形及び売掛金	160,746	145,939
契約資産	12,566	8,738
商品及び製品	9,140	9,385
分譲土地建物	109,622	110,737
仕掛品	3,113	6,131
原材料及び貯蔵品	8,789	8,966
その他	50,562	50,353
貸倒引当金	△1,584	△923
流動資産合計	422,300	386,696
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	812,185	850,624
機械装置及び運搬具（純額）	81,853	79,872
土地	723,020	723,894
建設仮勘定	190,205	150,024
その他（純額）	23,429	25,712
有形固定資産合計	1,830,693	1,830,129
無形固定資産	38,674	37,702
投資その他の資産		
投資有価証券	226,392	233,617
退職給付に係る資産	10,382	10,382
繰延税金資産	20,071	17,330
その他	65,598	68,481
貸倒引当金	△100	△924
投資その他の資産合計	322,344	328,888
固定資産合計	2,191,712	2,196,720
資産合計	2,614,012	2,583,417

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	100,887	82,295
短期借入金	423,036	447,384
コマーシャル・ペーパー	30,000	10,000
1年内償還予定の社債	25,000	20,000
未払法人税等	5,832	4,950
契約負債	43,148	48,880
引当金	12,300	8,378
前受金	10,159	11,326
その他	118,690	99,553
流動負債合計	769,056	732,768
固定負債		
社債	320,000	360,000
長期借入金	489,483	466,166
引当金	2,520	2,457
退職給付に係る負債	42,760	41,389
長期預り保証金	137,754	137,612
繰延税金負債	15,336	15,276
再評価に係る繰延税金負債	4,881	4,881
その他	47,826	48,512
固定負債合計	1,060,563	1,076,295
特別法上の準備金		
特定都市鉄道整備準備金	5,020	4,392
負債合計	1,834,639	1,813,456
純資産の部		
株主資本		
資本金	121,724	121,724
資本剰余金	123,329	123,329
利益剰余金	471,348	486,686
自己株式	△17,329	△47,081
株主資本合計	699,074	684,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15,698	18,247
繰延ヘッジ損益	1,151	886
土地再評価差額金	5,196	5,196
為替換算調整勘定	13,968	14,886
退職給付に係る調整累計額	5,531	5,557
その他の包括利益累計額合計	41,546	44,773
非支配株主持分	38,751	40,526
純資産合計	779,372	769,960
負債純資産合計	2,614,012	2,583,417

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年6月30日)
営業収益	209,182	239,259
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	149,139	160,741
販売費及び一般管理費	51,269	54,000
営業費合計	200,409	214,741
営業利益	8,772	24,518
営業外収益		
受取利息	93	137
受取配当金	502	518
持分法による投資利益	2,320	4,550
その他	2,417	1,764
営業外収益合計	5,332	6,971
営業外費用		
支払利息	2,103	2,162
その他	1,729	1,649
営業外費用合計	3,833	3,812
経常利益	10,272	27,676
特別利益		
固定資産売却益	274	15
工事負担金等受入額	271	153
特定都市鉄道整備準備金取崩額	627	627
投資有価証券売却益	458	828
その他	18	97
特別利益合計	1,650	1,723
特別損失		
工事負担金等圧縮額	219	121
固定資産除却損	269	741
その他	353	175
特別損失合計	842	1,038
税金等調整前四半期純利益	11,079	28,362
法人税等	3,542	7,921
四半期純利益	7,537	20,440
非支配株主に帰属する四半期純利益	259	476
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,278	19,963



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	7,537	20,440
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	118	1,924
繰延ヘッジ損益	-	0
為替換算調整勘定	3,908	751
退職給付に係る調整額	205	4
持分法適用会社に対する持分相当額	1,830	835
その他の包括利益合計	6,063	3,516
四半期包括利益	13,600	23,956
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,069	23,190
非支配株主に係る四半期包括利益	1,531	765

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

当社は、2023年6月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式の立会外買付取引（ToSTNeT-3）により、16,524,300株の取得を行っております。この結果、当第1四半期連結累計期間において、自己株式が29,752百万円増加し、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が47,081百万円となっております。

（追加情報）

（会計上の見積りを行う上での新型コロナウイルス感染症の影響の考え方）

前連結会計年度の有価証券報告書における（重要な会計上の見積り）に記載した新型コロナウイルス感染症の収束時期等を含む仮定について、重要な変更はありません。

## (セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	交通 事業	不動産 事業	生活 サービス 事業	ホテル・ リゾート 事業			
営業収益							
外部顧客への営業収益	43,251	35,811	116,748	13,370	209,182	—	209,182
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	896	8,723	3,602	1,064	14,286	△14,286	—
計	44,148	44,534	120,351	14,434	223,468	△14,286	209,182
セグメント利益又は損失(△)	3,022	6,151	1,347	△1,799	8,721	51	8,772

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額51百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	交通 事業	不動産 事業	生活 サービス 事業	ホテル・ リゾート 事業			
営業収益							
外部顧客への営業収益	50,532	50,613	119,153	18,960	239,259	—	239,259
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	544	9,945	3,806	1,855	16,150	△16,150	—
計	51,077	60,558	122,959	20,815	255,410	△16,150	239,259
セグメント利益	9,556	12,421	2,394	117	24,490	27	24,518

(注) 1. セグメント利益の調整額27百万円は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。